# MSSJ2013 3P - 09 Mass++: ピーク情報検出技術の開発 Mass++: Development of the peak information detection techniques for mass spectrometry analysis

〇宇都宮眞一1•姚 精文1•藤田雄一郎1•田中聡1•山田賢志1•梶原茂樹1•川畑慎一郎1•田畑剛2•高橋健太郎2•青島健2•小田吉哉2•田中耕一1

O S.Utsunomiya<sup>1</sup>, J.W.Yao<sup>1</sup>, Y.Fujita<sup>1</sup>, S.Tanaka<sup>1</sup>, S.Yamada<sup>1</sup>, S.Kajihara<sup>1</sup>, S.Kawabata<sup>1</sup>, T.Tabata<sup>2</sup>, K.Takahashi<sup>2</sup>, K.Aoshima<sup>2</sup>, Y.Oda<sup>2</sup>, K.Tanaka<sup>1</sup>

## **1. Introduction**

生データからの雑音情報除去(Signal de-noising)、 ピーク検出 (Peak detection)から成る初段のデータ解 析が、同定・定量等の後段解析の精度や信頼性に 与える影響は大きい(Fig.1)。

今回、バイオマーカの探索や検定の局面で取得さ れるデータを想定して、これらのピーク情報検出技 術の開発を行った。

なお、開発プラットフォームとしてms3dプロジェクト で開発・保守を行っている質量分析データ解析用ソ フトウエアMass++<sup>[1][2]</sup>を用いた。今回開発した手法は 同ソフトウエアのプラグインとして実装しており、定量 解析の評価にも同ソフトウエアのQuantitation機能。 Batch処理機能、3D-View機能を用いている。



**Fig.1 Peak information extraction** 

## **2. Method 2-1 Signal de-noising**

### (1)Noise reduction

Wavelet解析は各種計測装置の画像処理・信号処理に応 用されている<sup>[3]</sup>。今回、過去のノウハウに質量分析データ 用の工夫を加えたアルゴリズムを新たに構築した。

- ◆m/zのピーク位置が重要となるので、基底関数には対 称性に優れた直交基底であるCoiflet (Fig.2)を採用
- ◆対象データのWavelet変換で得られる多重解像度成分 に対し、指定Parameterに忠実な雑音成分低減処理を 施して再構成

### (2)Baseline subtraction

バイオマーカ探索フェーズで使用されるサンプルの 種類・品質は多様で前処理やイオン化の条件も多岐 に渡るため、ベースライン特性は大きく変わる。これら に簡便に正確に対応できるアルゴリズムBLT(Bottom Line Tracing)法を構築した。

◆理解し易いパラメータ(ピーク幅と個数)設定により 複雑な操作なしに多様なデータに対応

### (3)Contaminated peaks depression

LC-MSデータにおいてRT方向に顕著な夾雑ピー クが見られる場合があり、自動分析における Precursor選択にも悪影響を及ぼす。今回、これら を抑制する手法を構築した。

◆RT間の信号強度を正規化後、RT方向の低 周波の信号変動をベースラインとして除去

## **2-2 Peak detection**

Peak list に含まれる雑音ピークが多いと同定 信頼度が損なわれる。精度の高いピーク同定 を目的としたピーク検出法 MWD (Multi Window Detection) 法<sup>[4]</sup>を開発した。

- ◆領域ごとにlon peak を Noise peak 中の孤立 点と見なして検出することで、弱いlon peak 検知しつつNoise peak混入を抑制
- ◆高分子測定時のMSスペクトル特性を反映 したモデルにより、重なりのあるIsotopic peakも正確に判定除去(Fig.4)



### Fig.2 Coiflet(N = 6) Wavelet

An orthogonal wavelet base whose symmetric property is superior.



**Fig.3 Contaminated peaks** 

Contaminating peaks are seen in LC-MS data as continuous edge lines along RT axis



### Fig.4 Mono-isotopic peaks detection

MWD can detect mono-isotopic peaks correctly as shown even if some overlapped components exist.

1 島津製作所 田中最先端研究所



●ノイズ低減、ベースライン除去、夾雑ピーク除去、ピーク検出の新アルゴリ ズムを開発し、Mass++プラグインとして実装した。

●ノイズ低減法とベースライン除去法はデータ特性変動に対して複雑な設定 なしに対応可能で、定量解析試験で熟練操作者と同等の結果が得られた。 ●ピーク検出法は同位体ピークを高精度に検出できて雑音ピークが少なく、

同定試験において従来法(他ソフト)より信頼度が高い結果が得られた。

ノイズ低減、ベースライン除去、ピーク検出の3つのプラグインは ms3dより 一般公開しているMass++<sup>[2]</sup>(V2.6.0以降)上で利用できる。同ソフトウエアは マルチベンダー対応であるため、ユーザが使用中の装置データに対する効 果確認も可能である。



定量分析結果評価 : 既知タンパクの希釈系列データ(内標なし)に対して、熟練分 析者による手動調整(装置付属SW使用)とMass++のDefault値自動処理を比較した

Blue : Manual operation by a well-trained operator with the instrument attached software

	Samples													
	BSA1	BSA2	BSA3	BSA4	BSA5	BSA6	BSA7	BSA8	BSA9	BSA10	BSA11	BSA12	BSA13	Average
C	1072	955	890	701	440	650	823	1121	590	503	325	244	362	667
Ą	951	689	473	338	234	378	438	1224	338	378	175	156	82	450

[1] S.Utsunomiya, S.Tanaka, et. al., "A platform for mass spectrometry to construct suitable software to achieve user's own purposes", ASMS(2013), MP18-360

[2] Mass++ Download website ; http://www.first-ms3d.jp/achievement/software/mass2

[3] S.Utsunomiya, "Development of Signal and Image Processing Techniques Using Wavelet Transform" SHIMADZU REVIEW , Vol.57, 133-139 (2000)

[4] J.Yao, et.al., "Peak Detection Method in Mass++", AOHUPO(2012)

### Acknowledgement

本研究は、日本学術振興会の最先端研究開発支援プログラムにより、助成を受けたものである。 This research is supported by the Japan Society for the Promotion of Science (JSPS) through its "Funding Program for World-Leading Innovative R&D on Science and Technology" (FIRST Program).